

夕涼みて夏を満喫

皆さんが毎年楽しみにして下さっている夏祭りが中止となってしまいました。それでも『夏!!』を感じていただきたいと【夕涼み】を行いました。

日中の暑さが和らいだ夕方から外に出て、夕暮れの新幹線や田園風景を眺めながらスイカやかき氷、羊羹やわらび餅などのデザートや、枝豆にビール、冷たいジュースを召し上がっていただきました。スタッフお手製の羊羹を食べた荒田たてるさんは「夏らしくていいな〜美味しい!!」と。恵良芳子さんはご自身で着付けされた浴衣をまとい、ご主人の貞喜さんと参加されました。そして夏と言えば花火!!皆で手持ち花火を楽しみ、最後は線香花火で締めくくりました。

短い時間でしたが、過行く夏を感じながら、心安らぐひと時となりました。(武山奈央)

すずの郷の夏

8月末に毎年恒例の夏祭りを開催する予定でしたが、緊急事態宣言が発令され、やむなく中止の決断を致しました。しかし、お年寄りと一緒に4月から準備を進め、楽しみにしておられたお年寄りも多かったため、形を変えて、夕涼みを行いました。

今月のすずの郷新聞は、すずの郷の『夏!!』夏祭りの準備や盆踊り、その他夏を感じる日常をお届けします

すずの郷新聞

第120号



『お年寄りをヒーローヒロインに』

をテーマに、お年寄りと一緒に夏祭りの準備をしていました。

今年の屋台は、各ユニットのお料理が得意なお年寄りの得意料理とし、日比野良子さんはお母さんとの思い出のドーナツを出店しようと、事前に試作して練習。工作の得意な方とは一緒にポスターを作り、書道が得意な方には、引換券や看板などを筆で書いていただくなど沢山の準備を進め夏祭りを楽しみにしていました。夏祭りが中止となり、とても残念に思いましたが、色々準備してきたことは、今後形を変え、別の形で行い、お年寄りの趣味特技を生かしていただく機会を改めて設けます。

2年続けて夏祭りはできませんでしたが、来年こそはすずの郷らしい夏祭りを皆で思いっきり楽しめるようになっていくと信じています。(木野哲矢)



築城60周年

すずの郷新聞は120回を迎え、丸10年が経過しました。たくさんの方の思い出の詰まった10年に皆さまへの感謝と「楽しみにしてますよ」の励ましのお言葉に、作成スタッフ一同、気持ちを新たに、心温まる嬉しい場面を描いてまいります。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

すずの郷新聞 創刊10周年!!

すずの郷新聞は、今号をもちまして創刊10周年を迎えました。10年もの長きに渡り、一度も休刊することなく、ご家族の皆さまにお年寄りの暮らしの様子をお伝え出来たことは、すずの郷新聞を毎月楽しみにして下さっているお年寄りの皆さんや、ご家族様のおかげと感謝申し上げます。

お年寄りの日常や外出のエピソードをお伝えしたいと始めたすずの郷新聞。昨年からのコロナ禍においては、一人でも多くのお年寄りを掲載させていただき、ご家族の皆さまにお年寄りの元気な様子を見ていただく心掛けて作成しております。「面会できないけど、新聞で顔を見て安心しています」などのお声をいただき、益々励みとなっております。今後ともすずの郷新聞を宜しくお願い致します。(佐久間恵美)

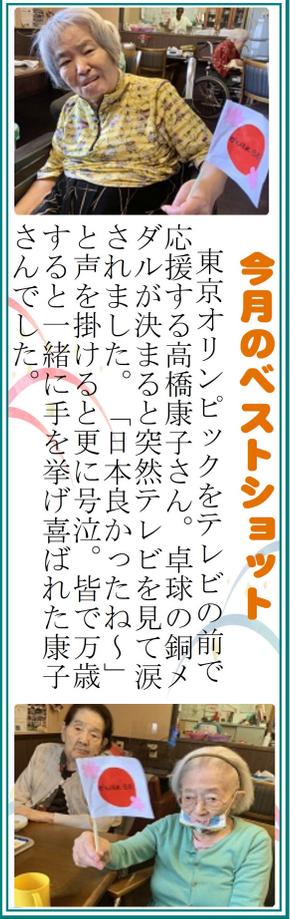
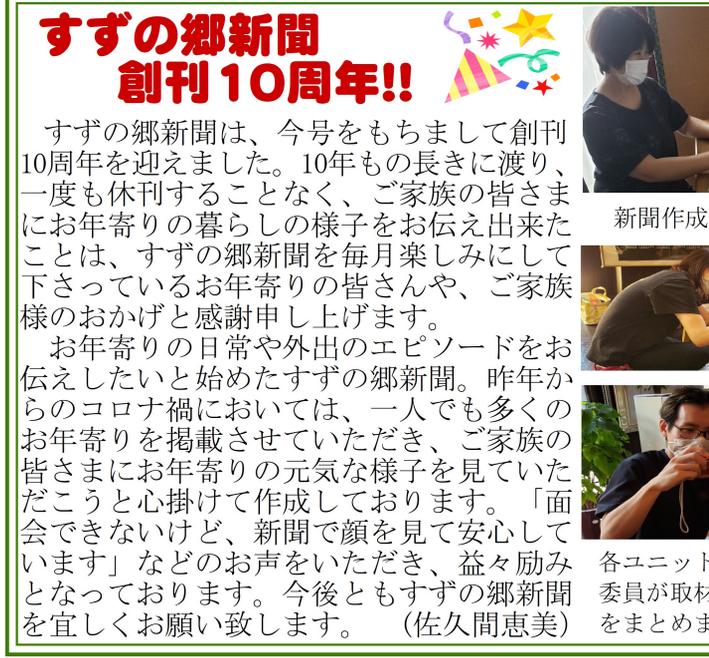
うちわ作り

夏祭りに向けてうちわ作りをしました。パステルアートを初体験された春田廣子さんはとても器用に、朝顔の花びらを青やピンクで彩られ、4色のパステルを混ぜて美しい紫色の朝顔を完成されました。「ここにこのくらいの葉を」と更に緑も添えて全体のバランスもセンスも夏らしく、素敵のうちわが完成。

手形アートにチャレンジの野村義久さんは、わらべの子どもとの共同作品で、親子のゾウさんを完成。「暑い夏もこれで大丈夫!」と笑顔の義久さんと共に「来年こそは夏祭りの開催を」を願うばかりです。(濱嶋いづみ)

今月のベストショット

東京オリンピックの高橋康子さんを応援する高橋康子さんをテレビで見た。高橋康子さんが「日本代表」を達成した瞬間を捉えた。高橋康子さんの笑顔が、みんなを笑顔にした。



ゆかたを着て 盆踊り

お年寄りとスタッフが浴衣を着て盆踊りを楽しみました。本来なら8月29日の夏祭りで浴衣を着て皆と一緒に盆踊りを踊る予定でしたが、緊急事態宣言発令のため、規模を縮小して行いました。



夏祭りを楽しみにいただきたいと、事前に浴衣を選ぶ日を設け、喫茶室に着物屋さんのように浴衣を並べ、皆さんに好きな浴衣を選んでいただきました。綺麗な浴衣を前に「これがいい!!」「これも綺麗!!」と皆さん盛り上がり浴衣を選んでいただきました。

盆踊りの日は、喫茶室を提灯で飾り、みんなで浴衣を着て盆踊りを楽しむことで、夏らしさを感じていただきました。踊りの和に入って楽しまれた塚本辻夫さんと楳村和子さん。歌って参加された日比野良子さんや福田紀美子さん。皆さん色々な楽しみ方をされていました。夏らしい盆踊りを皆さんと楽しむことができ嬉しかったです。(木村優花)

事前に浴衣をそれぞれ選んでいただきました

夏の味覚 炭火焼きの鮎を味わう

～夏を愉しむ鮎の塩焼き～夏の味覚を味わおう!!というこで、夏の味覚の一つである鮎の塩焼きを焼きました。串を打って塩振り。上田キヌエさんは「私には無理よ」と言われながらも説明し、何匹かやってくうちに、真剣に一つ一つのヒレを確認しながら、お一人で20匹程の鮎に飾り塩をつけて下さいました。

「焼は男の仕事!!」と山田貞一さんにバトンタッチ。バーベキューコンロに炭を並べるところからお任せしました。備長炭に火をおこし、じっくりと遠火で焼いていきます。焼係の特権!!焼き立ての鮎をその場でかぶりつき、味見役もバッチリ。出来上がった鮎を皆さんのところに届けて下さいました。デザートにはすいか。夏の味覚を食べて、夏を感じ、皆さん美味しそうに召し上がっておられました。(木野哲矢)



7月初旬、すずの郷の近くでサプライズ花火が上がるとの情報が入り、夕食後、花火を見に出掛けました。初夏を感じる蒸し暑い夜。目の前で上がる打ち上げ花火の体の芯まで響く音や、火薬のにおいを感じる事ができ、お年寄りもスタッフも皆が心一つになって花火をじつと見つめ、感激の夜となりました。

サプライズ花火に感激

歩いて行けるような場所で、目の前の特等席で花火を見ることができなんて、外出ができない中、思いがけないサプライズプレゼントをいただいた気分でした。(佐久間恵美)



武光観光 9月のイベント ホットとする癒しの時間



武光観光の9月の季節イベントは「ビューティーサロンかよこ」を行いました。『ほっとできる時間』をテーマに、足湯・アロママッサージ・ネイル・お化粧品・眉カットを行い、美容・体にいいスペシャルドリンクを召し上がっていただき男女問わず皆さんに楽しんでいただきました。

足湯やアロママッサージでは、眠られてしまう方もみえ、リラックスして過ごしていただきました。お化粧品は、パックから丁寧にさせていただきました。森文子さんはお化粧品後鏡を見て、「ふふ!!」と笑ってみえた姿が印象的でした。ネイルは「何それ!!」と言われる方が多く、恵良芳子さんと林道子さんは「生まれて初めて」と爪が綺麗に色づいていくのをじっと見ておられました。

普段は見られないような皆さんのキラキラした笑顔が沢山見られて、とても嬉しかったです。今後も皆さんと一緒にオシャレを楽しみたいです。(木村優花)

